2022/12/1

MICIN 少額短期保険株式会社

がん保険契約の乗換に関する特約

特約条項

MICIN 少額短期保険株式会社

目次

この特約の概要.....	3
1. 総則	3
第 1 条（用語の定義）	3
2. 乗換時の取扱い	3
第 2 条（特約の締結）	4
第 3 条（特約の適用）	4
第 4 条（乗換後契約のがん責任開始日前にがんと診断確定された場合の取扱い）	4
第 5 条（特約の解約）	5
第 6 条（特約の消滅）	5
第 7 条（主約款の規定の準用）	5

がん保険契約の乗換に関する特約

この特約の概要

この特約は、新たな保険契約を締結することにより既に成立している保険契約を消滅させる場合で、消滅する保険契約および新たな保険契約がともにごん保険契約であるときの取扱いについて定めたものです。

1. 総則

第1条（用語の定義）

1. この特約条項において使用する用語の定義は次のとおりとします。ただし、別に定める定義がある場合は、それによります。
 - (1) がん：乗換前契約または乗換後契約の普通保険約款において「がん」と定められている、悪性新生物等をいいます。
 - (2) がん責任開始日：乗換前契約または乗換後契約において、がんに関する保障を開始する日をいい、責任開始日からその日を含めて91日目となります。がん責任開始日まではがんに関する保障はありません。
 - (3) がん保険契約：次のいずれにも該当する保険契約（保険契約に付加されている特約を含みます。以下同じ。）をいいます。
 - ① 被保険者ががんと診断確定されたことが保険金・給付金の支払事由に含まれていること
 - ② 前号の保険金・給付金の支払にかかる会社の責任が、がん責任開始日から発生すること
 - (4) 主契約：主たる保険契約のことをいいます。
 - (5) 主約款：主契約の普通保険約款のことをいいます。主契約に特約が付加された場合はその特約の特約条項を含みます。
 - (6) 乗換：新たな保険契約を締結することにより既に成立している保険契約を消滅させることをいいます。
 - (7) 乗換前契約：乗換により消滅することとなる保険契約のことをいいます。付加された特約がある場合はその特約を含みます。
 - (8) 乗換後契約：乗換により新たに締結する保険契約のことをいいます。付加された特約がある場合はその特約を含みます。

2. 乗換時の取扱い

第2条（特約の締結）

1. この特約は、がん保険契約を乗換後契約とする保険契約の乗換を行う場合に、保険契約者の申出により、被保険者の同意および会社の承諾を得て、乗換後契約の主契約に付加して締結します。
2. この特約は、保険料の払込を要しません。

第3条（特約の適用）

1. 次条以降に定める事項は、乗換前契約の主約款における乗換時の取扱いに関する規定にしたがって乗換後契約が成立し、かつ乗換後契約の責任開始日の前日をもって乗換前契約が解約された場合に適用します。

第4条（乗換後契約のがん責任開始日前にがんと診断確定された場合の取扱い）

1. 乗換前契約のがん責任開始日以後、乗換後契約のがん責任開始日の前日（乗換後契約のがん責任開始日の前日より前に乗換前契約の保険期間が満了して更新されない場合は、乗換前契約の保険期間満了日とします。）までの間に被保険者ががんと診断確定されたことにより乗換後契約が無効となる場合で、そのがんの診断確定が乗換前契約および乗換後契約の保険金・給付金の支払事由に含まれているときは、乗換前契約の解約を取り消し、次の各号のとおり取り扱います。
 - (1) 会社は、乗換後契約（保険契約が更新された場合（複数回更新された場合を含みます。）はその更新後の保険契約を含みます。）について、乗換後契約の主約款にしたがい、既に払い込まれた保険料を乗換後契約の保険契約者に払い戻します。
 - (2) 乗換前契約が解約から解約の取消までの間に更新日を迎えていた場合は、その更新日に会社の定める内容で更新されたものとして取り扱います。また、保障の範囲や保険料の払込等の契約内容については、乗換前契約に適用される主約款（保険契約が更新された場合はその更新後に適用される主約款）の定めにしたがいます。
 - (3) 会社は、解約を取り消した乗換前契約（解約から解約の取消までの間に保険契約が更新された場合は、その更新後の保険契約を含みます。）について、払込期日が到来している保険料のうち会社に対する払込がなされていない保険料を保険金・給付金から差し引き、保険金・給付金を支払います。
 - (4) 乗換前契約の解約を取り消したときに乗換前契約の契約者または保険金・給付金の受取人が死亡していた等で乗換前契約を継続させることが難しい場合は、会社の承諾を得て、乗換後契約の契約者が乗換前契約の契約者が有する一切の権利義務を引き継ぎ、保険金・給付金の受取人を乗換後契約の受取人とすることができます。ただし、保険金・給付金の受取人は乗換前契約の主約款に定め

る範囲内に限ります。

2. 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、乗換前契約の解約の取消はできません。
 - (1) 乗換後契約の主約款の重大事由による解除に関する規定により、乗換後契約について解除の原因となる事由が生じていたとき
 - (2) 乗換後契約について、解除をしたとき
 - (3) 乗換後契約の主約款の不法取得目的による無効に関する規定により、乗換後契約が無効となるとき
 - (4) 乗換後契約の主約款の詐欺による取消に関する規定により、乗換後契約の締結が取り消されるとき
3. 乗換前契約の解約の取消により、他の保険契約と合算した保険金額・給付金額が会社の定める限度を超える場合は、乗換前契約および他の保険契約の主約款の定めにかかわらず、会社と契約者で協議のうえで、限度内となるよう会社の定める範囲内で乗換前契約または他の保険契約の保険金額・給付金額を減額します。なお、会社の定める限度内となるよう乗換前契約または他の保険契約の保険金・給付金の減額ができない場合は、本条第1項の規定にかかわらず、乗換前契約の解約の取消はできません。

第5条（特約の解約）

1. この特約のみの解約は取り扱いません。

第6条（特約の消滅）

1. 次の各号のいずれかに該当するときには、この特約は消滅します。
 - (1) 第4条（乗換後契約のがん責任開始日前にがんと診断確定された場合の取扱い）第1項にもとづき、乗換前契約の解約を取り消して保険金・給付金を支払ったとき
 - (2) 乗換後契約が解約その他の事由によって消滅したとき（ただし、解約その他の特約が消滅した事由が取り消され、乗換後契約が元の有効な状態に戻るときには、この特約も同様に元の有効な状態に戻ります。）

第7条（主約款の規定の準用）

1. この特約に別段の定めのない場合には、乗換後契約の主約款の規定を準用します。